



# 南条っ子

南条っ子は 進んで学ぶ子  
思いやりのある子  
かいっぱいやりぬく子

目標 ともに学び 豊かな心で未来を切り拓く子の育成

南条小学校だより  
R3.5.12 No.11



## GIGAスクール構想

GIGAスクール構想が打ち出されたのは、2019年の2月のことです。文部科学省の定義によると、「1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、多様な子どもたちをだれ一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育環境を実現する」というものです。簡単に説明すると、「1人1台の端末とICT環境の整備で、子ども一人一人に適したより深い学びが実現できる」ということです。国の「GIGAスクール構想」により、南越前町の小中学校では、昨年度末に1人1台のタブレット端末などが整備されました。そして、今年度からタブレット端末やパソコンを活用した学びが、本格的に始まります。(町内の小学校ごとに、進捗状況や取組の内容に違いがあります。)



### Q どんなことに使うのか？

A 情報活用能力を高めるため、授業での「普段使い」を目指します。

1人1台の端末整備は、情報通信機器 (ICT) を学習に生かすための環境づくりの一環と位置付けられています。文部科学省の「教育の情報化に関する手引き」には、ICTを活用した学習場面として、以下のようなことなどが挙げられています。

- ・先生が授業で提示する画像や音声などを、手元の端末で見る
- ・インターネットを用いて、情報収集をする
- ・写真や音声、動画などを用いて、資料や作品を制作する
- ・クラウドサービスなどを使って、複数の意見や考えを整理する

各教科の授業の中で、日常的にコンピューターを使えるようにして、子どもたちの情報活用能力を高めていくことを目的としています。コロナ禍で登校できない時に役立つ同時双方向のオンライン授業や、タブレット端末を持ち帰っての家庭学習などは、あくまで、こうした学習活動の一つです。

しかしながら、現状では、特に低学年ほど、アルファベット(大文字、小文字)なども分からず、文字入力さえ困難な状況であることに加え、教師側も全員が堪能に扱えるというわけではなく、個々のICTスキルを高めていく必要性が不可欠であることなどから、「普段使い」のツールとして定着するには課題が多く、まだまだ多くの時間がかかりそうです。

今後、タブレット端末を家庭に持ち帰ることもありますが、情報活用能力を意識しながら、親子でコンピューターに触れてみる雰囲気を作っていただきたいと思います。

## ○ 除草・石拾い

5月10日(月)から、業間の時間を使って、校庭の草むしりや石拾いを行っています。みんな、一生懸命に作業をしてくれて、大変ありがたいです。



## ○ 学校案内 (1・2年生)

5月7日(金)、12日(水)の生活科の時間に、2年生が1年生に、学校の特別な部屋について説明したりクイズを出したりしました。2年生は上手に発表することができていましたし、1年生はしっかり聴くことができていました。



## ○ コシアカツバメ

コシアカツバメというツバメをご存知でしょうか？ 名前のおり、腰の部分(オレンジ色)が赤く(オレンジ色)なツバメです。福井県では、ツバメ、イワツバメ、コシアカツバメの3種類のツバメを見ることができますが、その中でも福井県準絶滅危惧種に選定されているのがコシアカツバメです。南条中学校には、そのコシアカツバメの巣がたくさんあり、コシアカツバメの生息数が多いことで県内有数の場所になっています。本校の周りにも、たくさん飛んでいます。また、南条大橋には、イワツバメの巣があります。3種類のツバメには、姿や巣の形などにそれぞれ違いがありますので、興味を持たれた方は比較してみてください。

